

# 災害用備蓄物資の効率的な 管理・運用等を目指して

---

京都市行財政局防災危機管理室

# 京都市 行財政局 防災危機管理室

- 防災危機管理室では、防災対策、国民保護、危機管理、原子力災害対策等に関する事務に取り組んでいます。



＜本件の担当メンバー＞

➤ 係長 中野 武士

※写真左

➤ 係員 木村 竜之介

※写真右

- 倉庫作業で物資の数量を確認する光景





# 解決したい課題・実現したい未来

---

- 1 備蓄物資の効率的な管理
- 2 備蓄倉庫の効率的な運用
- 3 賞味期限等が近付いた物資の有効活用



# 解決したい課題・実現したい未来

## ● 1 備蓄物資の効率的な管理

### 【解決したい課題】

- ◆ 備蓄物資の棚卸しとデータ管理の効率化  
⇒ 物資更新の際に、台帳と実数に乖離が生じやすい
- ◆ 稼働型資機材の動作確認を効率的に行う体制づくり  
⇒ 全避難所分にある資機材の稼働確認を行いたいが、職員の負担が大きい

実現したい未来  
(あるべき姿)

- ・ 台帳と実数に乖離が生じない。
- ・ 備蓄物資の保管・管理負担が軽減する。
- ・ 災害時の物資利用が容易になる。



# 現状

---

- 1 備蓄物資の効率的な管理
  - ◆ 備蓄物資の数量を、備蓄倉庫ごとに「数量把握」用と「履歴管理」用の2つのエクセルデータで管理している。
  - ◆ 物資を全500箇所以上に分散備蓄しているため、数量管理や移動の際には莫大な時間と労力がかかり、職員の負担が大きい。
  - ◆ 稼働型資機材は300箇所近くの避難所に分散しているため、動作確認を行いたいが、莫大な時間と労力がかかり、職員の負担が大きい。



# 現状

## ● 1 備蓄物資の効率的な管理

### 【参考】

- ◆ 拠点備蓄倉庫 : 30箇所
  - ◆ 避難所備蓄倉庫 : 293箇所
  - ◆ 緊急避難広場 : 33箇所
  - ◆ 福祉避難所 : 191箇所
- 合計 : 547箇所

災害物資搬送センター  
(拠点倉庫)



御池創生館・御池中学校  
(拠点倉庫兼避難所倉庫)



備蓄物資 保管状況  
(拠点備蓄倉庫)

※消費記録のある品目については、倉庫内の消費箇所にも保管している。

令和5年7月31日現在

品目	食料・飲料水								生活必需品								被服・トイレ								加算割
	アルファ 化率	加工等 が可能な 食料	お菓 子	調味料	粉ミルク (200g)	粉ミルク (714g 以上)	液体 ミルク (200ml)	飲料水 (400ml)	毛布	寝具 毛布	伊勢 産 味噌	紙おし り (大)	紙おし り (小)	生活 用品	トイレ ペーパー	寝服式 (男式)	寝服式 (女式)	タオル トイレット 紙 (男式)	タオル トイレット 紙 (女式)	タオル トイレット 紙 (洋式)	タオル トイレット 紙 (洋式)	タオル トイレット 紙 (洋式)	タオル トイレット 紙 (洋式)	加算 率	
合計	134,380	217,475	28,850	23,212	2,424	80	0	129,492	15,192	40,645	23,000	11,268	49,216	26,818	14,750	126	90	329	1	16	18	1,110	96,500		
01_北区		1,180	500	300	0	144	8	0	480	0	0	1,900	0	0	0	1	4	0	1	1	0	0	2,000		
02_上野区		0	0	0	0	96	8	0	0	38	0	1,500	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2,000		
02_上野区		0	6,000	0	0	0	0	0	630	0	0	0	0	0	2	3	9	0	0	0	0	0	10,000		
03_左野区		5,000	0	0	0	720	8	0	1,896	0	0	3,100	0	0	4	4	9	0	0	0	0	0	0		
03_左野区		1,700	0	0	0	0	0	0	4,872	490	0	0	0	0	5	5	17	0	0	0	0	0	10,000		
03_左野区		1,510	0	0	0	0	0	0	960	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
04_中央区		0	0	0	0	180	8	0	40	0	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
04_中央区		0	0	0	0	0	0	0	190	0	0	10,800	2,580	144	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
05_中央区		10,400	0	0	0	60	0	0	4,800	483	0	1,000	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0		
06_山科区		0	0	0	0	204	8	0	90	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
07_下野区		0	0	0	0	132	8	0	0	0	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
07_下野区		0	0	0	0	0	0	0	1,400	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0		
07_下野区		0	5,000	0	0	0	0	0	5,016	0	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
08_南区		0	0	0	0	192	8	0	0	0	1,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1,600		
08_南区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,784	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
09_右野区		0	0	0	0	788	8	0	660	500	1,800	0	0	0	8	13	15	0	0	0	0	5	500		
09_右野区		0	0	0	0	0	0	0	592	0	0	0	0	0	5	5	10	0	0	0	0	0	20		
10_西野区		0	1,900	0	0	252	8	0	480	0	900	864	3,432	2,580	360	0	0	0	0	0	0	0	0	600	
10_西野区		2,400	0	0	0	84	0	0	904	0	900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	800	
11_伊豆区		1,530	0	0	0	396	8	0	1,000	0	2,400	0	0	0	2	3	10	0	0	0	0	0	0		
11_伊豆区		2,450	0	0	0	0	0	0	390	2,000	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0		
11_伊豆区		18,000	0	0	0	84	0	0	2,900	0	1,300	480	1,980	12,900	800	0	0	0	0	0	0	0	0	2,800	
11_伊豆区		3,010	0	0	0	84	0	0	927	0	1,300	0	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0		
03_左野区		0	0	0	0	0	0	0	4,800	2,090	26,500	0	7,008	10,800	0	20	0	0	0	0	0	0	0		
03_左野区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
03_左野区		0	0	0	0	0	0	0	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	5,000		
04_中央区		30	100	50	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
04_中央区		1,180	0	0	0	0	0	0	788	1,499	1,125	0	0	0	6	5	28	1	2	2	0	0	0		
09_右野区		500	72,300	0	22,712	0	0	0	1,632	480	510	0	0	0	10	10	20	0	3	5	12	0	8,800		
11_伊豆区		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88	9	125	0	8	10	0	0			
11_伊豆区		85,070	121,675	28,500	500	0	0	114,224	1,107	0	2,916	5,640	8,758	4,721	2	2	4	0	0	0	962	0	53,200		
合計	134,380	217,475	28,850	23,212	2,424	80	0	129,492	15,192	40,645	23,000	11,268	49,216	26,818	14,750	126	90	329	1	16	18	1,110	96,500		

# 現状

「数量把握」用データ



# 解決したい課題・実現したい未来

## ● 2 備蓄倉庫の効率的な運用

### 【解決したい課題】

- ◆ 倉庫内での物資配置場所の把握
- ◆ 物資の配置レイアウトの見直し

⇒ 担当職員以外でもわかりやすい配置にするとともに、図面等で職員間や災害時に協力いただく輸送業者と共有しやすい仕組みを構築したい。

実現したい未来  
(あるべき姿)

- ・ 救援物資が迅速・効率的に避難者まで行き届く。
- ・ 倉庫内が整理されている。
- ・ 物資の保管場所が図面として共有されている。



# 現状

---

## ● 2 備蓄倉庫の効率的な運用

- ◆ 拠点倉庫内で、どの物資をどの場所にどの程度の量を置いているかがわかりずらいため、災害時に倉庫を使用する際にわかりにくい。
- ◆ 物資が一部の拠点倉庫に偏在しているため、物資の移動等の際に遠方の倉庫まで行く必要があり、職員の負担となっている。
- ◆ 担当職員も倉庫管理・運用のノウハウがないため、専門的なノウハウを持つ事業者からアドバイスをいただきたい。



# 現状

災害物資搬送センター  
2階



# 解決したい課題・実現したい未来

## ● 3 賞味期限等が近付いた物資の有効活用

### 【解決したい課題】

- ◆ 物資の賞味期限を正確に把握する。
- ◆ 期限が近付いた物資はすべて有効活用する。



実現したい未来  
(あるべき姿)

- ・ フードロスが削減できる。
- ・ 倉庫のデッドスペースの発生を防止できる。
- ・ 倉庫をより効率的に使用できる。



# 現状

---

- 3 賞味期限等が近付いた物資の有効活用
  - ◆ 地元の防災訓練や学校給食、児童養護施設等で使用している。
  - ◆ 物資ごとに期限が異なり、数量も多いため、毎年度、払出先の確保に苦労している。

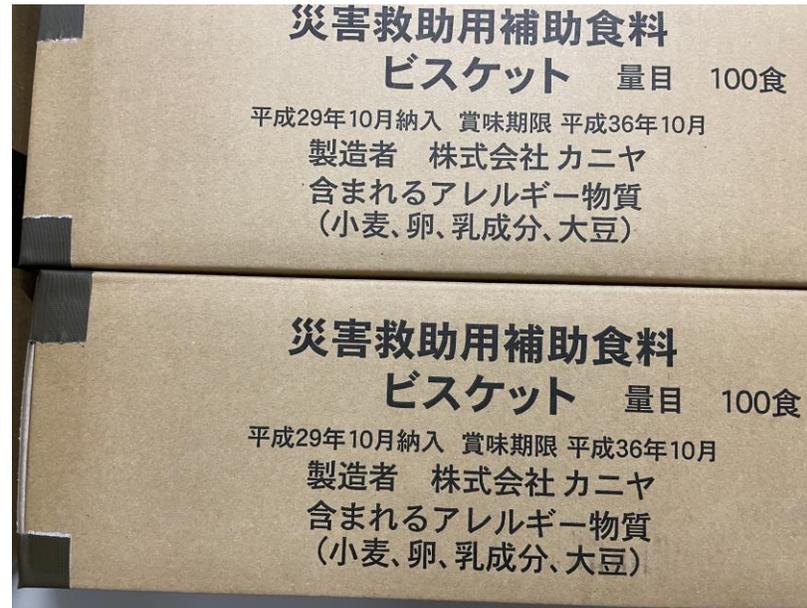


# 現状

## アルファ化米（炊出用）

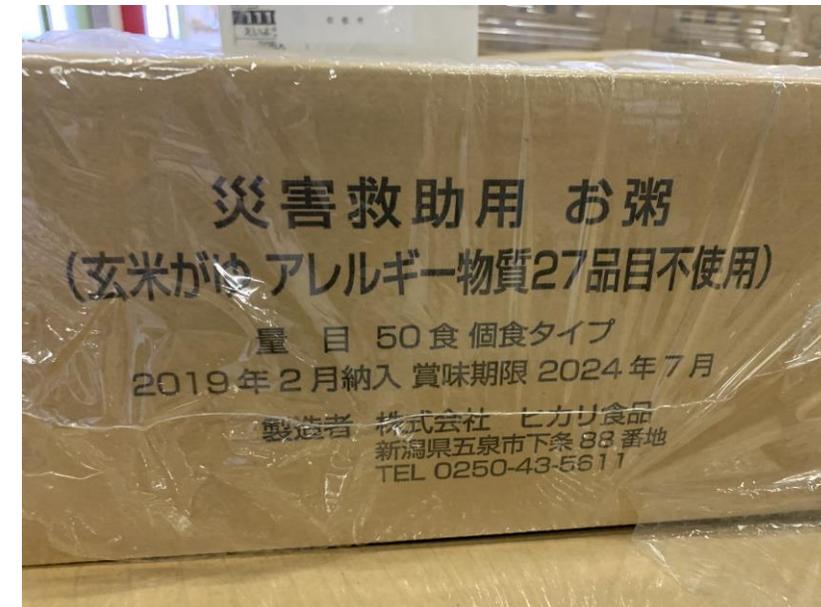
品名	災害救助用アルファ化米(わかめごはん) 特定原材料等(アレルギー物質)27品目不使用
量目	50食 炊き出しタイプ
納入年月	平成31年(2019年)1月
賞味期限	平成36年(2024年)6月
製造業者	アルファー食品株式会社
製造業者所在地	島根県出雲市大社町北荒木645番地

約8.5リットルのお湯または水が必要です。



## 補助食料（ビスケット）

## お粥





# 提案の自由度（想定する解決策）

---

- 倉庫作業の専門知識・技術を有する業者の協力を得て、拠点備蓄倉庫や避難所備蓄倉庫等の効率的な管理や運用ができるよう、その方法や必要な予算について、本市の財政状況を踏まえつつ検討している。



# 企業側の想定メリット

---

- 本市との連携事業として、PR可能であること。
- 有効期限が近付いた物資又は賞味期限切れの物資を使用した事業。
- 他の自治体でも同様の課題を抱えており、取り組みを全国に広げられる可能性がある。



# 行政によるサポート体制

サポート項目	状況	詳細
職員とのディスカッション可否 (オンライン・オフライン・両方・NO)	両方可	—
現場の視察可否	可能	※ 施設管理者の承諾が得られた施設のみ
提供可能なデータ・資料	あり	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 備蓄物資の管理台帳</li><li>・ 倉庫の図面 等</li></ul>
提供可能なフィールド	あり	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 拠点備蓄倉庫</li><li>・ 避難所備蓄倉庫</li><li>・ 緊急避難広場</li><li>・ 福祉避難所</li></ul>
今後の展開想定	—	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 費用対効果を鑑みて本格導入につなげる可能性がある</li></ul>
他自治体との課題共通性 (1-5)	5	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 他の自治体でも同様の課題を抱えており、取組みを全国に広げられる可能性がある</li></ul>